

CITY OF YOKOHAMA

クラウドファンディングで、 オデーサ市の保育園に遊具が設置されました！

～爆風で被害を受けた保育園の修復が進み、
60人の園児が滑り台やシーソーで遊んでいます～

2026年4月23日
市長定例記者会見



横浜市

姉妹都市オデーサ市への支援

2022年ウクライナ侵略により危機に直面したオデーサ市からの要請に、国際機関や企業・市民の皆様と連携し、いち早く対応



募金活動
計約4千万円



オール横浜で
避難民支援



10万人分の緊急時
の飲み水確保



極寒の作業のための
約2,000着の防寒服



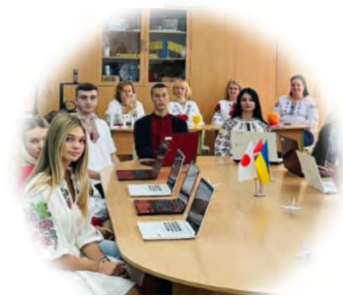
市庁舎を
ウクライナ色に



子どもたちの
柔道交流



子どもたちの
アート交流



教育のための
中古パソコン305台

オデーサ市の保育園復旧支援の経緯（1）

2023年6月、オデーサ市第141保育園の3棟の建物および付帯設備が爆風によって被害を受け、閉園



▲被害を受けた保育園の様子▲

オデーサ市の保育園復旧支援の経緯（２）



【横浜市の役割】

- 横浜市は、オデーサ市から相談を受け、連携先を模索
- 国連開発計画(UNDP)※に保育園復旧支援を連携して行うことを相談し、合意（UNDPのウクライナ支援での自治体連携は世界初）
- UNDPが復旧工事を円滑に進めるにあたり、UNDPとオデーサ市との協議を支援
- 園庭に遊具を設置するためのクラウドファンディングをUNDPと共同実施

※国連開発計画(UNDP)： 貧困の根絶や不平等の是正、持続可能な開発を促進する国連の主要な開発支援機関。人々や国々の能力を育てる活動を、約170の国・地域で行っている。

遊具設置に向けたクラウドファンディング

- 実施期間：2025年8月5日～9月30日
- オデーサ市の子ども達やウクライナ避難民の皆様から、手作りしたグッズを返礼品としてご提供いただきました。



返礼品作製にご協力くださった
ウクライナ避難民の皆様



オデーサ市の子ども達や、ウクライナ避難民の
皆様による手作りの返礼品



- 総支援者数 294 人
- 支援総額 3,365,000 円（目標金額：3,000,000円）

クラウドファンディング支援者からの応援コメント

横浜市から応援です。一日も早く復旧し、安心して遊ぶ事ができますように。

ウクライナの子どもたちに届きますように。

オデーサの子どもたちに笑顔をお届けたいです。

ウクライナの子ども達が再び笑顔になりますように。応援しております！

ウクライナのみなさんのことを忘れません。どうぞご無事で。戦争が終わってみなさんに幸せな日々が戻ってくることを祈っています。



横浜の姉妹都市であるオデーサの人々に、何かしらのお役に立てればと思っています。

オデーサの人々に平和が訪れる日を祈っております。

1日も早くウクライナに平和が戻って来ますように！

保育園が元に戻り再開できること、子供たちの場がオデーサの中心部に戻ることを応援しております。

オデーサをはじめウクライナの子どもたちが安心して暮らせる日々が、早く訪れますことを願っています。

現在の第141保育園

今回設置された滑り台、シーソー、砂場、子ども用ベンチ等の遊具で60人の園児が元気に遊んでいます。

※遊具は保育園の職員や保護者とともに選定しました。



オリハ・ポフダンフ
第141保育園 園長

子どもたちのために、安全で楽しい空間を整えてくださったことに、心より感謝申し上げます。

この場所は単なる遊び場ではなく、温かさに満ちた空間であり、優しさと信頼を育む場となりました。皆さまからの思いやりは確かに届いています。

国際機関や企業、市民の皆様とともに
姉妹都市オデーサ市に寄り添い続けます



Yokohama stands with Odesa